

令和5年度 進路通信1・2年生版 羅針盤第3号



令和5年6月14日(水)
都立上野高校進路指導部
「自主協調・叡智健康」

期末考査とベネッセ7月模試に向けて頑張ろう！

今年は遠足や運動会も無事終了し、コロナ前に戻り平常授業が実施されています。毎日の授業や課題を当たり前ものと思わないで、大事に取り組みましょう。日々の勉強はすべて皆さんの学力(実力)を維持したり、向上させるためのものです。課題もただ出せばいい、ただ写せばいいという考えでは、実力はつかないし、全く意味がなくなります。

起床時間・学習開始時間・就寝時間の3点を固定することを心がけ、学校がある日は自宅で最低2時間以上の学習時間を心がけましょう。

1学期中間考査の結果はどうでしたか?できなかった教科や問題は必ず振り返り、期末考査に向けて改善しながら、目標を設定し、着実に勉強を進めていきましょう。授業の予習復習も必ず行い、提出物をきちんと出し、自主的に問題集を解いたり、英検に挑戦したり、自分の関心に基づいて「探究」に取り組んでいきましょう!

このような日々の学習の積み重ねが、模試の好成績や大学共通テストレベルの基礎学力の土台になります。

当面の目標は期末考査と7月13日(木)14日(金)に行われる進研模試です。計画的に勉強し、考査に向けての勉強が皆さんの実力向上につながるように意識していきましょう!

1年生の皆さん、7月模試は全国の大学入学を目指す40万人以上の高校生と同時に受験する初めての模試です。皆さんの全国レベルの実力を測ることができるので、英数国の苦手分野をなくし、期末考査に力を入れながら、実力をアップさせましょう。

2年生の皆さん、7月模試から志望校(5校記入)を判定することが始まります。志望校合格のレベルをゴールと設定し、そこから逆算して、自分に何が足りないのかを分析しながら、勉強法を改善していきましょう。

高校の勉強スタイル予習→授業→復習のゴールデンサークルが確立されているか再度確認することも大事です。

75期生大学生チューターから12年生のみなさんへ

部活動と勉強の両立はどうしましたか?

部活の時間は勉強のことを忘れて頑張ることで、帰ってから集中して課題に取り組みました。電車の中など、移動時間で小テストの勉強をしたり、休日に課題や復習を行うなど部活で削れた勉強時間をカバーしていました。(明治大学 E. Y君)

家に帰る前に自習室や図書館に立ち寄り課題をやり、勉強のやる気を維持したまま自宅の机に向かいました。(東京外国語大学 N. K君)

部活が特に忙しいときは課題を忘れやすいので、学習手帳にやるべきとをリストアップしました。忙しい部活だったので、普段は小テストや課題を確実にこなし、定期考査期間になったら集中して復習に取り組むようにメリハリをつけました。(法政大学 F. Y君)

苦手教科がありましたか?どうやって克服しましたか?

理系教科が苦手だったのですが、とにかくまず公式や定理の構造を理解し、色々な解法を頭に入れました。(東京外国語大学 N. K君)

中学から英語が苦手でしたが、できないのは勉強時間が足りないからだ気付いてからは、単語・長文・リスニングと学校の勉強だけでなく、スタサブやYou Tubeもフル活用して勉強しました。すると模試で80点を超える得意科目になりました。(中央大学 H. H君)

12年生の内にやっておいて欲しいことはありますか?

少しの時間でいいので、その日にやった授業や小テストの復習を習慣にすると、3年になってからの負担がぐっと減ります!また行事や部活などは思い切りやって、受験生になったときに後悔が残らないようにして欲しいです。(東京都立大学 H. H君)

2年生の内に、第一志望校から併願校まで決める。オープンキャンパスには行っておく。英単語古文単語を覚えきる。理社の1科目を完成させる。(東京学芸大学 I. A君)

小テストや授業、定期テストに真剣に取り組むことです。私は英単語の小テストで完璧にこなしたので、3年になってから英単語で苦勞しませんでした。また英検は12年のうちに取得してよかったと思います。私は準1級まで取得しましたが、受験では本当に有利になりました。それとオープンキャンパスは12年で複数校参加しましょう。3年になると余裕がなくなります。(早稲田大学 K. Mさん)

上野高校の後輩のみなさんに一言メッセージをお願いします

今は受験に向けて必要以上にあせらなくても大丈夫です。目の前の課題や勉強にしっかり取り組みましょう。部活と勉強を両立する経験は今後に生かされます。(早稲田大学 K. Mさん)

12年生は日々の課題や小テスト、定期テストにしっかり取り組みましょう。受験では基礎力がマストです。3年までにしっかりやっておけば、やっていなかった人と比べて大きくリードできます。(学習院大学 M. T. さん)

色々な事に挑戦してみたり、友達との生活を大切にして密度の濃い3年間にしてください。(東京都立大学 H. H君)

「目標を持ち自分を成長させる」

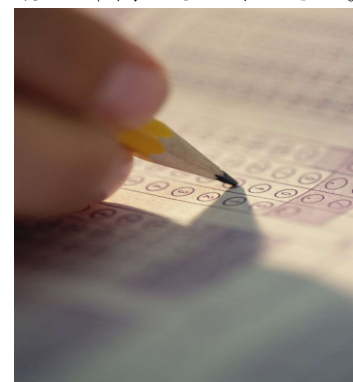
千葉大学法政経学部 75期生 M. M. さん

12年の皆さんは、第一志望の大学がまだ決まっていない人も多いのではないのでしょうか?私は高2の9月頃に、志望校を考え始め、自分で積極的に調べました。

通いやすさや自分の学びたい学問がある点や幅広く選択科目が選べる点で千葉大法政経学部決定しました。

国立大学は科目が多いから大変と思いがちですが、苦手教科の方が、伸ばすことができると発想を変えました。そうすると選択肢が広がりますし、国立を目指すことでどの教科も基礎を大事にしました。

12年のうちは、予習復習と定期テストの勉強を真面目に徹底することだけは忘れないでください。それから時間が足りないと焦った時が一番時間があり、今からならいくらでも出来ることがあると分かって欲しいです。たとえどんなに苦手な教科があったとしても、12年の今からならいくらでもばん回できます。今できることを精一杯やって、苦しくなっても今まで頑張ってきた自分を一番信じて頑張ることが大切です。

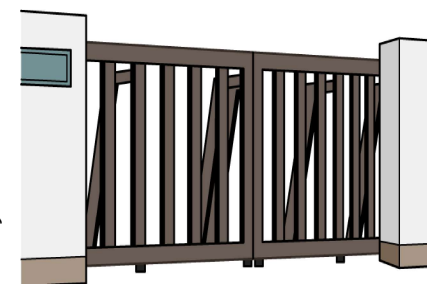


先輩からの一言アドバイス

「学校の授業・小テスト・定期考査をきちんと受ける。そこをしっかりとやると受験で焦らなくても済む」

「学校の教材は大事です。教科書をよく読み、問題を解く。時間がたってからでも解けることが大事なので、何日か後に同じ問題を解くと、苦手なところが見つかる」

「英語は音読が命。理系は3年の夏までに英語を完成せる。理系は数学の良し悪しが運命を左右する。わからないところは先生に聞け。物理は



ちゃんと理解すればめちゃくちゃ簡単。理解するまでがキツイがつかめばこっちの勝ち。問題集を基礎からやれ。」

「暗記教科は、何度も反復して覚えよう。次の日も一週間後も期間を調整しながら何度か繰り返すと完璧です。定期テストは期間が限られているので、どうすれば勉強の効率がよくなるかを探していくことが大事」

「英語は音読。10回音読しなさい。死ぬ気で勉強したら、1年の時にどんなに成績が悪くても上がります。1年で偏差値が41から70にあがりました。」

「数学や物理は考えて問題を解いたり、公式をしっかりと理解する習慣をつけましょう。最初は難しく感じるけど、理解したら楽になります」

「日頃から勉強を習慣にすると、いつの間にか実力がつき、楽をして大学に合格できます。」

「1年の時から受験を意識して勉強すべきです。」

「自分がやりたいことを学べる大学を調べることはとても大事です。インターネットを活用しましょう。」

「英数国は12年の勉強が特に大事です。早めに基礎を固め、わからないところや苦手な分野はすぐに復習しよう。僕は3年になって、古文の助動詞や数Aの確率統計をやり直しました。」

「GMARCH・早慶・国公立大に受かりたければ、12年のうちにターゲット1900やターゲット1000、古典単語を完璧に覚えていることが大前提です。高3になるとこんな基本的なことを頭に入れ直している暇はありません。」

オープンキャンパスは大事です！

例年オープンキャンパスは、気になる大学のことがわかる絶好の機会です。時期的には6月から夏休みにかけて、各大学では、オープンキャンパスが必ず開催されますので、是非参加しましょう。動画での大学紹介を行っているところも多いですが、実際に大学に足を運んでほしいので、学校で配られる冊子や大学のホームページを見て予定を立てましょう。そして学生の雰囲気やキャンパスの様子を肌で感じてみるとよいです。たくさんある大学の中から、自分が4年間通い、母校になる大学を探すためにも、違いを比べて学校選びをする必要があります。

以下にオープンキャンパスではどんなことが紹介されているのかをまとめてみました。

①学校の説明

授業・カリキュラムの内容や学部・学科の説明、卒業後の進路、学費、奨学金など、詳しく教えてもらえます。

②キャンパス内見学

キャンパスや普段・学生たちが授業を受けている教室の雰囲気、自慢の設備などを見ることができます。学生食堂・カフェテリアや実習室、図書館など、学生生活に欠かせない施設を見てみましょう。

③学食体験

これは動画では体験できないので、実際に足を運んだ時に体験しましょう。大学生になると学食で食事するケースが多いので、学生気分も味わうことができます。

④体験授業&実習

模擬授業の分野や内容が自分に合っているかなど、自分が実際にそこで学ぶことをイメージしながら見極めましょう。



ゼミや研究室など、同じ学部学科でも同じような興味・関心を持つ学生が教授の下に集まり、研究していくのも大学の面白いところです。

⑤学園祭

学校の一大イベントである学園祭は学生の活動を間近で見ることができるチャンスです。高校生でも見学できますし、大学生活の雰囲気を体験することができます。



●学校見学のここをチェックしましょう

チェック内容	評価				
キャンパスや学生の雰囲気は自分に合っているか	1	2	3	4	5
学校周辺の雰囲気はどうか	1	2	3	4	5
学びたい学部・学科があるか	1	2	3	4	5
模擬授業・体験授業は興味ある内容だったか	1	2	3	4	5
図書館などの施設設備は充実しているか	1	2	3	4	5
資格取得のサポート体制はどうか	1	2	3	4	5
就職状況・就職サポート体制はどうか	1	2	3	4	5
留学制度や海外研修はあるか	1	2	3	4	5
奨学金・特待生制度はあるか	1	2	3	4	5
学食は充実しているか	1	2	3	4	5

積極的に高校生向けワークショップに参加しましょう！

「日経エデュケーションチャレンジforSDGs」はオススメです！

コロナによってオンライン授業が身近になり、高校生向けのワークショップが「対面」だけでなく「オンライン」で行われるようになりました。いくつかのワークショップや高校生向け講座は、Teams にアップしていますが、今回皆さんに紹介するのは、第23回日経エデュケーションチャレンジforSDGsです。エデュケーションチャレンジ（エデュチャ）は「オンライン」と「対面」、2つのスタイルで受講できます。

SDGs 達成で努力している企業の方々が講師となり、高校生に贈る「生きた授業」を通して、みなさんひとりひとりに様々な気づきや学びが生まれると思います。そして皆さんが取り組んでいる「探究」のテーマの研究や進路選択にも生かされることでしょう。是非エデュチャに参加してみてください。

エデュケーションチャレンジ 2023 校長の一條 和生先生（一橋大学名誉教授）の言葉です。

「世界で持続可能な地球や社会の実現のためにリーダーシップを発揮しているのは皆さんたち、若い世代です。皆さんも、2023年エデュチャに参加し、企業によるSDGsの取り組みを深く知り、自分には何ができるのか考えてみませんか。それがきっと皆さんの未来への第一歩につながります。」

